

新規就農先輩の軌跡 No.40

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="231 309 737 689" data-label="Image"> </div> <p>氏名：芝田 琢也（しばた たくや） 住所：神戸市西区岩岡町 年齢：31歳</p>	<p>農地：55a 施設：ビニールハウス9a 経営内容： ・施設：葉物野菜、トマト等 ・露地：キャベツ、ブロッコリー等 ・水稻 労働力：本人、父、母 出荷先：直売所</p> <div data-bbox="901 683 1284 974" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="831 992 1356 1055" data-label="Caption"> <p>（露地でも多品目の野菜を栽培）</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2004年 東京農業大学卒業 2004～2009年 株式会社類設計室 （農業部門担当） 2009～2010年 新規就農離陸加速モデル推進事業研修員 2010年 神戸市西区岩岡町で就農 2013年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分の考えで野菜の作付けができ、苦労に見合う生産物が仕上がったときに充実感が得られた。 ○苦労した点 気象条件に影響されるので、計画どおりの生産ができず、状況に応じた管理が必要になる。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>就職先でも多品目生産する部署の生産管理を任されていたが、雇用就農ではなくて自立して農業経営をしたいという思いが強くなった。</p>	<p>就職先で農業部門の管理をしていた経験があっても、農業研修を積んでいても、思いどおりに生産できないこともあるので、就農前に十分な準備をしておくことが必要。</p>